

恋人に求める条件は優先度をつけて限定したほうがいい？ 現在の恋人が兼ね備えている条件は、自身が求める条件よりもかなり少ない

「恋愛・結婚調査2017」より

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ（本社：東京都中央区 代表取締役社長 山口 文洋）が運営する調査・研究組織のブライダル総研より、「恋愛・結婚調査2017」に関する分析をお伝えします。

恋人に求める条件は「容姿」よりも「人柄」「性格の合致」が高い

20～40代の未婚者は、恋人にどのような条件を求めているのでしょうか。「恋愛・結婚調査2017」にて、20～40代未婚者に対し、「恋人に求める条件」について調査しました。

【恋人に求める条件上位5項目（20～40代未婚者／複数回答）】

- 1位：人柄の良さ：80.4%
- 2位：性格が合うこと：65.0%
- 3位：容姿：48.7%
- 4位：あなたに対する愛情：43.5%
- 5位：金銭感覚が合うこと：36.3%

恋人に求める条件をみると、1位、2位は「人柄」「性格の合致」など、人となりや考え方などの「中身」を重視しており、3位の「容姿」よりも差があることが分かりました。恋人には、見た目よりも中身を重視する人が多いようです。

現在の恋人が兼ね備えている条件は、自身が求める条件よりもかなり少ない

さらに、現在恋人がいる人の「現在の恋人と条件の合致状況」について、調査しました。

【恋人の条件个数（20～40代の現在恋人がいる未婚者）】

<恋人に求める条件>

- 全体：平均7.8個
- 男性：平均5.7個
- 女性：平均9.9個

<現在の恋人が希望と合致している条件>

- 全体：平均4.2個
- 男性：平均3.0個
- 女性：平均5.2個

恋人に求める条件个数をみると、平均7.8個であることが分かりました。また、男女で見ると女性の方が条件設定が多いことがみてとれます。一方で、現在の恋人が兼ね備えている希望の条件をみると、男女共に「恋人に求める条件」よりも少なく、約半数であることがみてとれます。交際を決める際の条件の合致数は、希望よりもかなり少なくなるようです。

初めから自分の条件に100%合致する人と交際することだけが幸せなのではなく、交際を始めてから、それまで知りえなかった、相手の良いポイントを見つけることで、幸福な恋人関係を作っていけるのかもしれませんが。

◆ 出版・印刷物ヘデータを転載する際には、「恋愛・結婚調査2017（リクルートブライダル総研調べ）」と明記いただきますようお願い申し上げます。

【リクルート ブライダル総研】

ブライダル総研

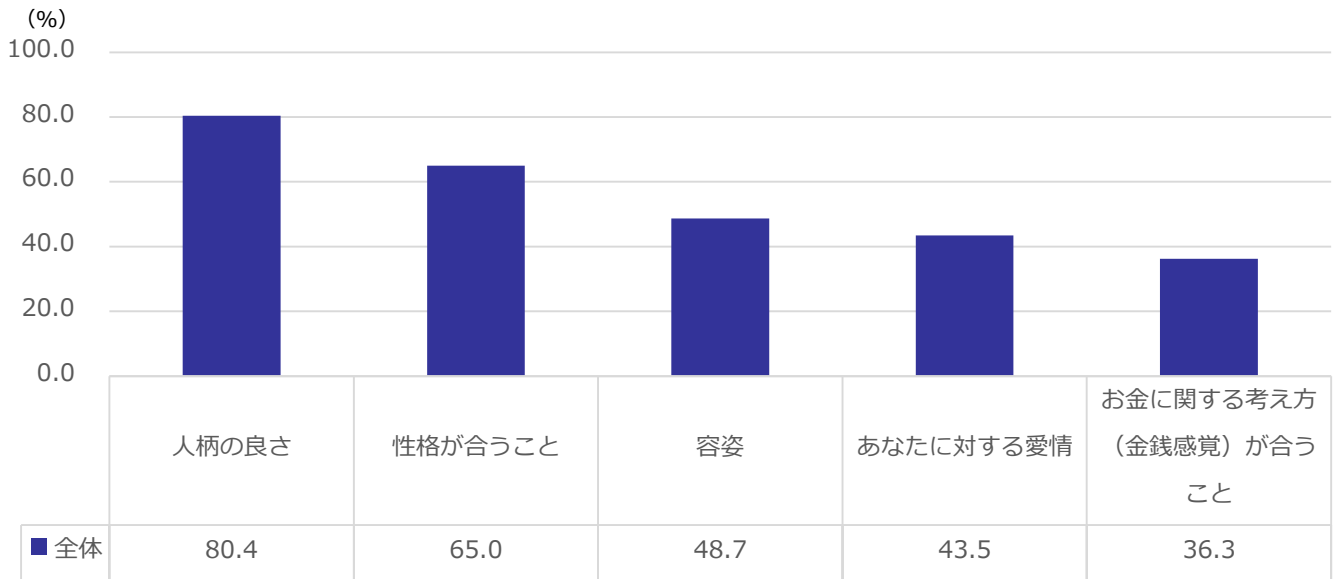
本調査の実査を担当する「ブライダル総研」は、を企画運営する株式会社リクルートマーケティングパートナーズにおける調査・研究組織です。結婚や結婚式に関する調査・研究、未来への提言を通じて、ブライダルマーケットの発展に貢献することを目的として活動しています。

「ブライダル総研リサーチニュース」バックナンバー
ブライダルに関する豊富な調査データはこちらをご利用ください

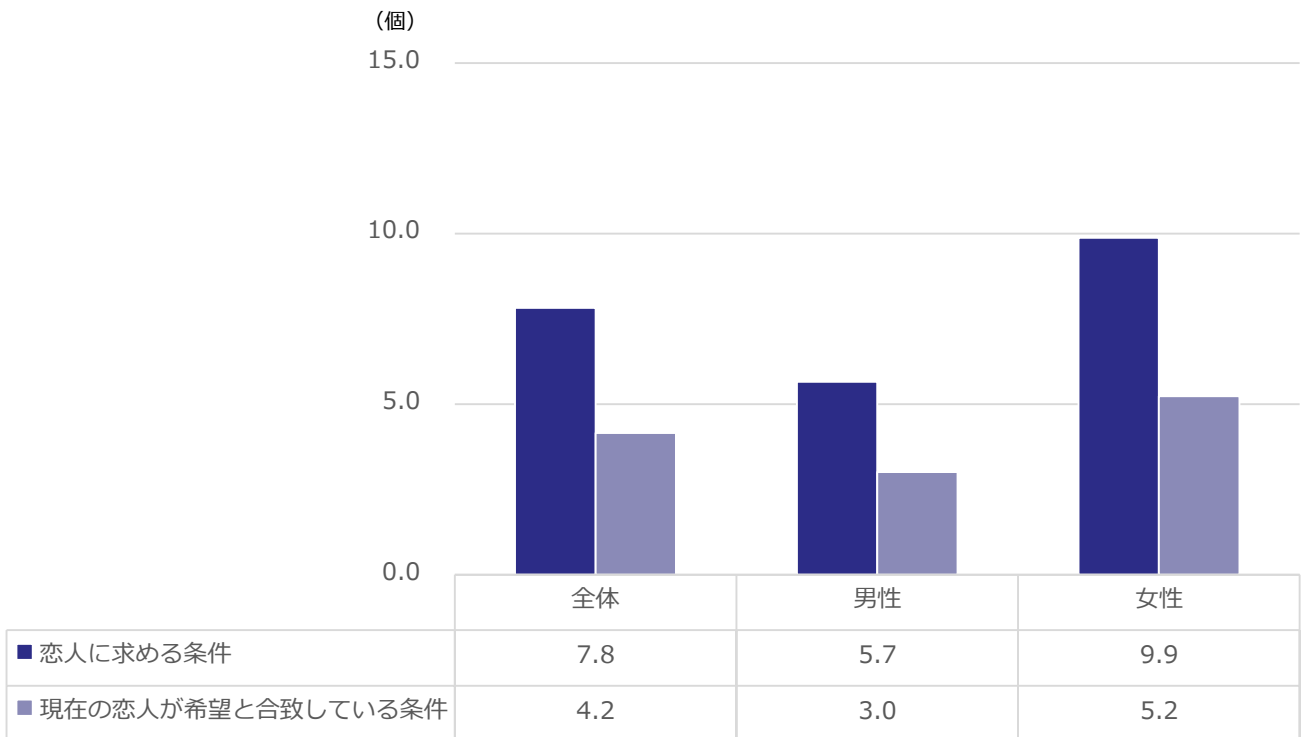
<http://bridal-souken.net/>

ブライダル総研 Research News

【恋人に求める条件上位5項目（20～40代未婚者／複数回答）】



【恋人の条件個数（20～40代の現在恋人がいる未婚者）】



【調査概要】

調査方法：インターネットによるアンケート調査
 調査期間：2017年9月22日（金）～2017年9月24日（日）
 調査対象：全国の20～49歳の男女（結婚経験のない独身者のみ）
 サンプル数：4,200人（未婚者の性・年代別の人口構成に合わせウエイトバックを実施）
 ※人口構成比：平成27年総務省統計局国勢調査より